



令和3年度第7回 TBRCセミナー
Tropical Biosphere Research Center Seminar

「タンパク質とゲノム情報からアプローチする ミドリイシ属サンゴの受精生物学」

守田 昌哉

琉球大学 熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設
サンゴ礁生物機能学分野

2021年12月17日(金) 16:00 -17:00
ZOOMによるオンライン開催
ミーティングID : 913 9373 2458
パスコード : E7Y0GB



刺胞動物に属するミドリイシ属サンゴはサンゴ礁を支えており、同じ属内では稀に見る種多様性(>110種)を持つ動物群でもある。ミドリイシ属サンゴにおいて、受精は新たな命の始まりであり、種多様性にも関わる重要な過程でありながら、そのメカニズムは不明なままである。サンゴで解析が進まなかった理由としては、産卵回数が限られていること、受精に関する候補タンパク質が不明であること、そしてその同定や解析に必要な情報が不十分であったためである。昨年、18種のミドリイシ属サンゴのゲノム情報が公開され、タンパク質の同定やその遺伝子比較が簡単に行えるようになった。そこで、ゲノム情報と報告されてきた繁殖研究の成果を踏まえて、昨年より受精に関して、1) 質量分析による精子と卵を構成するタンパク質の同定とその遺伝子比較、そして2) 受精候補タンパク質に対する抗体を用いた機能解析を進めている。本セミナーでは、これらの進行中の研究の一部を紹介し、その課題も報告したい。また、オーディエンスの方と研究内容の議論を通じて、非モデル生物であるサンゴの受精研究の方向性や分類やフィールド研究への発展性についても考えたい。